

平成 26 年度 地球環境論 (T140) 第 1 回ガイダンス

担当教員：内山雄介（工学部市民工学科准教授）

➤ 目的

地球の歴史的起源，変遷と現状を学びその本質を理解する．具体的に大気，水域，地圏，生態などの地球環境諸要素を客観的，定量的に把握することにより，現在また将来の諸問題についてその原因，現状，対策について考える基礎知識を習得する．

➤ 関連する学習・教育目標

(A-1) 多面的思考, (B) 基礎学力, (C) 専門基礎学力 (D-3) 課題解決 (D-4) 自然環境・文化・歴史

➤ 講義計画（指定のない限り原則として教室は C2-201）

	開講日	時限	内容
1	4月11日	2	ガイダンス／地球の歴史と環境変化
2	4月18日	2	地球環境と生物
3	4月25日	2	気圏環境
	5月02日		休講
4	5月09日	2	水圏環境，地圏環境
5	5月09日	4	気候変動（5/2の補講）
6	5月16日	2	中間試験
7	5月23日	2	グループディスカッション
8	5月30日	2	グループディスカッション発表会
9	6月06日	2	地球温暖化
10	6月13日	2	地球環境と水資源
	6月20日		休講（市民工学概論と入れ替え）
11	6月27日	1	地球環境モニタリング（6/20の補講）
12	6月27日	2	地球環境シミュレーション
13	7月04日	2	資源・エネルギー・地球環境問題と社会基盤整備
14	7月11日	2	期末試験
15	7月18日	2	まとめ

（講義の進捗状況により内容を変更することがある）

➤ 成績評価方法

評価は中間試験の成績 (30 点満点), グループディスカッション (30 点満点), および期末試験の成績 (40 点満点) を加えた合計が 60 点以上の履修生を合格とする. 合格者のうち, 90 点以上を秀 (S), 80 点以上 90 点未満を優 (A), 70 点以上 80 点未満を良 (B), 70 点未満を可 (C) とする. ただし, 出席回数が 70%以下 (全 15 回なので 5 回以上の欠席に相当) や, 授業マナーが悪いと判断される履修生については不合格 (不可) とする. 原則として再試験は行わない.

➤ 担当教員

- ✓ 工学部市民工学科准教授 内山雄介 (専門は海岸工学, 海洋物理学, 水理学)
- ✓ オフィス: 1W-308
- ✓ メール: uchiyama@harbor.kobe-u.ac.jp
- ✓ 講義資料等 Web サイト: <http://coast.dce.kobe-u.ac.jp/?Classes>
- ✓ 配布資料解凍パスワード: 講義中に指示する.
- ✓ オフィスアワー: 講義終了後, 月曜日 15 時~18 時, あるいはアポイントのうえ随時.

➤ 教科書・参考書

教科書は使用しない. 参考書は地球環境科学 (樽谷修, 朝倉書店) であるが, 購入は必須ではない. 基本的に全てのスライド・資料等は上記 Web サイトからの DL 配布とする. 必要に応じてプリントを直接配布する.